

学校だより

さいたま市立いろどり学園小学部・中学部

令和8年7月1日発行

第4号

「ありがとう」の意味

校長 米玉利 優子

「校長先生、こどうぞ。」ゆりかもめの1番前の車両に乗り込んで、きれいな景色を見ていた5年生の児童が私に声をかけられました。聞くと「僕たちの後ろからでは見えにくいから、前に来てほしいなと思ったんだ。」と言うのです。「ありがとう」と言いながら、そのあたたかさに、きれいな景色も滲んで見えました。5年生の校外学習の目的地、そなエリア東京では、日本中から消防士の方が集まり、大きな会議が開かれていました。地震や災害等が起きた時、力を尽くしてくださる方々だな、かっこいいなあ感慨に浸っている私の横で、いろどり学園の子どもたちが消防士の方に声をかけているのです。「こんにちは。何県から来たのですか。」「熊本県です。」「あ、くまモンですね!」「私は奈良県からです。」「あ、鹿がたくさんいるのですよね!」お互いにニコリと笑い合い、子どもたちが「いつもありがとうございます!」と言っているのです。私は、驚きと喜びとそして、誇らしさに胸が熱くなりました。

帰りの電車内では、疲れ切って座っている子どもたちの前に、外国からの旅行者とみられるご家族と男の子が立ちました。すると、どうそとジェスチャーをして、席を譲ったのです。「オウ!」と笑顔を見せたご家族は、電車を降りる際に日本語で「アリガトウ」と言ってくれました。日本の子どもの「考動」が、旅のあたたかい思い出の1つになったかなと思うと、小さな心あたたまる国際交流をしてくれた、日本代表の子どもたちに、心の底から「ありがとう」と伝えることができました。

「ありがとう」の反対語は「当たり前」です。そして「ありがとう」は「有り難し」が語源です。つまり、「ありがとう」は有ることが難しいことへの感謝の気持ちを表す美しい日本語です。毎日、電気が使えるように点検してくださる方、野菜や魚等も含め様々な荷物を運搬してくださる方、雨の日もごみ収集してくださる方、暑い日も寒い日も道路を整備してくださる方、今も災害のあった土地に向かい、多くの人を支えてくださる消防士や警察官、自衛隊の方…これは、当たり前のことでしょうか。いいねの数やフォロワーの数が多くことに憧れることが悪いとは言いません。でも、人に注目されなくても「誰かの笑顔のために」動いてくださっている多くの方がいるからこそ、今の私たちの生活が成り立っていることを忘れてはならないと思っています。そして、「当たり前こそ、ありがとう」と思える人間を育てていくこと、物の豊かな日本に生まれたからこそ、心の豊かさを忘れてはならないのだと子どもたちに伝え続けることが、大人の責任であると、私は強く思います。

今、私たちの生活の中に「ありがとう」は響いているでしょうか。心の目で見ると、世の中には「ありがとう」と思えることがたくさんあります。私が子どもたちに出す夏休みの宿題は1つ。「ありがとうをたくさん言おう。そして、ありがとうと言われることを1つでもやってみよう。」です。どうか、お子さんへ「ありがとう」を伝えてください。これからも、様々なことを感じ豊かな心をもつ人間教師となれるよう、教職員一同、精進してまいります。いろどり学園へのあたたかいご理解とご協力に心から「ありがとうございます。」素敵な夏休みを!